

## 發 言 通 告 書

令和 7 年 12 月 17 日

松山市議会議長 原 俊 司 殿

松山市議会議員 梶 原 時 義

次のとおり通告します。

発言順位	1	受領日時	12月 17日	午前・午後	11時 15分	1枚中 1枚目
質問等の方式		一問一答方式	・ 一括方式	発言時間	約 20 分	
答弁を求める者		・市長 ・農業委員会会长	・教育長 ・選挙管理委員会委員長 ・監査委員 ・公平委員会委員長 ・公営企業管理者			

No	件 名	発 言 の 要 旨
1	松山市プレミアム付商品券事業について	<p>(1)予算額 18 億 7,150 万円に対し、事務費が 3 億 7,150 万円と、事務費率が約 20%にもなっており、市民一人当たり 3,000 円分のプレミアム付商品券を発行するために、業者に 3 億 7,000 万円もの事務費を支払うのは、無駄に経費をかけているのではないかと疑問が残る。商品券の印刷・郵送費や事務局運営費などの経費の具体的な内容と詳細を示せ。</p> <p>(2)国の示したいわゆるお米券の配付に係る経費が 12%に及ぶと批判が続出し、4%程度まで抑えたと聞くが、本市の事務費率約 20%は郵送経費などを差し引いたとしても高すぎるのではないかと思うがどうか。</p> <p>また、業者に対する利益供与を疑われないように、詳細を精査して、事務費率を下げる工夫を行うべきだと思うがその気はあるのか。</p> <p>(3)事務費率を下げられないのであれば、お米券のほうが市民にとっては還元率が高く、お米券でお米以外の食品を購入できる店もあり経済効果も高いと思うが、費用対効果の比較を含め、今回、プレミアム付商品券事業を実施することとした理由を問う。</p> <p>(4)国からは生活者支援として、水道料金の減免など市民に 100%近く支援が行き渡るメニューがあるが、本市で前回実施したプレミアム付商品券事業の利用率が 60%程度にとどまったことを考えれば、課題があることは否めない。今回多くの市民に支援が行き渡る工夫はあるか。</p> <p>また、今回の市民利用率を何%と見込んでいるのか。</p>